

# 2050年カーボンニュートラル社会へ

積極的な地球温暖化対策が環境の保全だけでなく、大きな経済成長につながります。  
私たちの行動で、これからの未来を変えましょう。



愛宕小学校でのSuzuka-ECO<sub>2</sub>プロジェクト出前授業の様子

## 地

地球温暖化による気候変動は、ゲリラ豪雨や巨大台風の発生、猛暑などの気象災害の原因と考えられ、私たちの日常生活や社会に大きな影響を及ぼしています。これは私たちの活動から排出している「温室効果ガス」によるものと考えられています。

今、世界共通の課題となっているのが、温室効果ガスの排出抑制。日本も「2050年までに、温室効果ガスの排出を全体として実質ゼロにする『カーボンニュートラル社会』の実現を目指すこと」を2020年10月26日に宣言しました。また、その宣言とともに示されたのが「今までの発想を転換し、積極的に温暖化対策を進め

ることが経済の大きな成長につながる」という考え方です。これは、環境保全はもちろん、これからの日本や地域の経済成長のためにも、地球温暖化対策を進めることが必要であることを意味しています。

本市においても、2050年カーボンニュートラルの実現に向け、次の時代を担う子どもたちが少しでも温暖化対策に関心を持つよう「Suzuka-ECO<sub>2</sub>プロジェクト」をはじめ、さまざまな環境教育に力を入れています。

私たち一人一人がカーボンニュートラル社会実現のために、何ができるかや何をすべきかを考えましょう。





## Suzuka-ECO<sub>2</sub>プロジェクト 出前授業

三重県地球温暖化防止活動推進員の協力のもと、市内の小学校で地球温暖化防止をテーマにした授業を行い、小学生の環境意識の向上を図っています。

令和3年度もSuzuka-ECO<sub>2</sub>プロジェクト出前授業を市内6校で実施する予定です。

この授業では、地球温暖化を防ぐために身近な生活の中で実践できることを教えています。正しいごみの分別を教えるクイズなどを通して、楽しく学んでもらっています。子どもたちには、地球温暖化に関心を持って、二酸化炭素排出量の削減の取り組みを行い、将来の環境を守ってほしいですね。

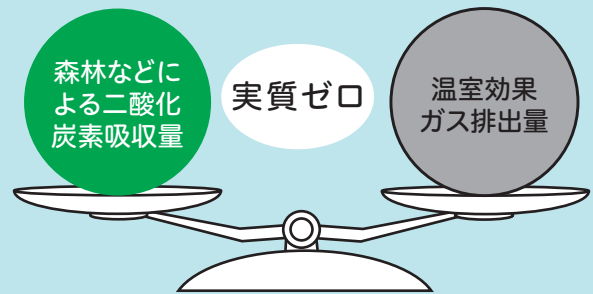


三重県地球温暖化防止活動推進員  
ぶんき  
落合文記さん



### カーボンニュートラル社会って？

温室効果ガスの排出量と、森林などによる二酸化炭素吸収量を差し引いて「実質ゼロ」を達成した社会のこと。



### カーボンニュートラル社会の実現に必要なことって？

#### 温室効果ガス排出量を減らす！

- 建物や機器の省エネルギー化
- 公共交通機関の利用拡大
- 電気自動車・燃料電池車などの普及
- 再生可能エネルギーの導入

#### 二酸化炭素吸収量を増やす！

- 植林・緑化の推進
- 海藻・水生植物をとりまく水環境の保全

### 本市が取り組む環境教育

### ～環境を考えるポスター展～



▲ 昨年のポスター展

環境問題への理解・関心を高めるきっかけとなるよう、市立小・中学校の児童・生徒を対象とした「鈴鹿市の環境を考えるポスター展」を行っています。

ポスター展には、地球温暖化や食品ロス削減、マイクロプラスチック問題などをテーマにした子どもたちの力作が並びますので、ぜひご覧ください。

なお、作品は夏休み期間中に募集します。児童・生徒の皆さんはご応募ください。

※ポスター展の日程などは、広報すずかや市ホームページでお知らせします。

次ページでは、家庭でできるカーボンニュートラルの取り組みを紹介！

# あなたのおうちも！ / カーボンニュートラルへ！

クール  
チョイス

本市では、カーボンニュートラルにつながる「COOL CHOICE運動」を推進しています。皆さんもライフスタイルに応じて、次のようなエコライフを実践しましょう。  
※クールチョイスとは、カーボンニュートラルに貢献する「ライフスタイルの改革」「製品の買い替え」「サービスの利用」「クールビズ」など、地球温暖化対策に役立つあらゆる「賢い選択」をしようという取り組みです。

## 食品ロスをなくそう！

食品は、生産・輸送・廃棄などの各過程で多くのエネルギーを使用しています。食品ロスは、食品だけでなく、費やしたエネルギーも無駄にしています。右のポイントを参考に食品ロス削減に積極的に取り組みましょう。



温室効果ガス排出量の8～10%が、消費されなかった食品に関連しているとされています。

国際連合環境計画(UNEP)「FOOD WASTE INDEX REPORT 2021」より

ひろき  
廃棄物対策課 田中裕貴

## 食品ロス削減のポイント

昨年行われた「食品ロスゼロチャレンジ!」に参加し、食品ロスゼロに成功した方にポイントをお聞きしました。

- ✓ 買い物に行く前に必要なものをメモして、買いすぎないようにする。
- ✓ 買って来た食材で、すぐに使わない肉や魚は下ごしらえ(小分けや味付け)してから、冷凍保存し、劣化を抑える。

- ✓ 早めに調理する食材は中身が見える容器で保存し、冷蔵庫内の見やすいところにまとめておき、使い忘れを防ぐ。



▲中身が見えやすい保存容器

## 省エネを意識しよう！

省エネ家電製品への買い替え、パソコンの省エネ設定……。こまめな節電など暮らしの中で省エネを意識しましょう。



## 再生可能エネルギーを活用しよう！

温室効果ガスを排出しない太陽光・風力・水力などを積極的に活用しましょう。



## スマートムーブを実践しよう！



徒歩や自転車、公共交通機関を利用して、エコな移動を実践しましょう。

## 緑を増やそう！



木などの植物は二酸化炭素を吸収してくれます。植物などを植えて、緑を増やしましょう。

他にも家庭でできることはたくさん。詳しくは、環境省ホームページをご覧ください。  
<https://ondankataisaku.env.go.jp/coolchoice/>

## 熱中症に注意しましょう！

これから気温や湿度が高くなり、熱中症の危険性が高まります。熱中症を予防するには、体が暑さに慣れることが効果的です。夏に向けて、早めに準備を始めましょう。

Let's Try!

しよねつじゆんか  
**暑熱順化!**

「暑熱順化」とは体を暑さに慣れさせ、自分で上手に汗をかける体を作ることです。発汗による気化熱や体の表面から熱を逃がす熱放散が起こりやすくなり、体温調節ができます。



まゆみ かずゆき  
環境政策課 眞弓和之

日常の中で汗をかきましょう!

### ●「暑熱順化」の方法

1. ウォーキング・ジョギング
2. サイクリング
3. 筋トレ・ストレッチ
4. 入浴

本市では、2050年カーボンニュートラルに向けさまざまな施策を検討するとともに、市民の皆さんに向けた啓発活動や、未来の子どもたちに向けた環境教育に力を入れて取り組んでいます。

「2050年カーボンニュートラル」は、非常に大きなテーマで未来の話という印象を受けますが、実現するためには、夏場の温度設定など、皆さん一人一人の行動の積み重ねが大切だと考えています。

今後も、市民の皆さんと一緒にカーボンニュートラルの実現に向けた取り組みを行いますので、ご協力をお願いします。

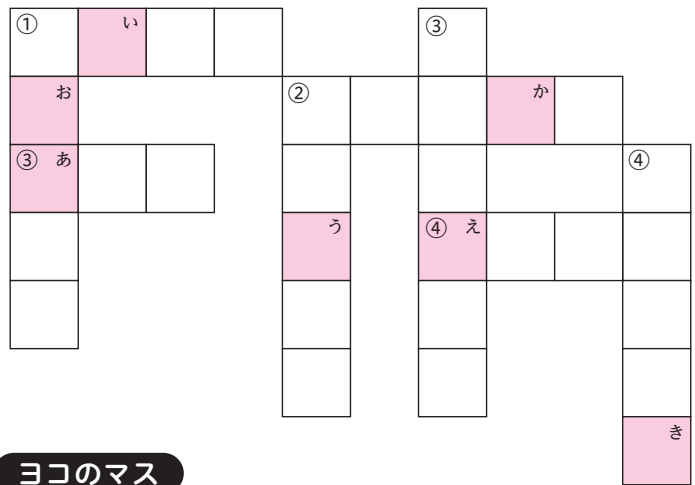


ひろゆき  
環境部次長 矢野浩之

## 環境クロスワードパズル

環境に関するクイズを解いて、右のクロスワードを完成させましょう。ピンクのマスをあ~きの順に並べてできる言葉は何でしょう。

A. あ い う え お か き



### タテのマス

- ① 食べられる食品が廃棄される「○○○○○ロス」が社会問題となっています。
- ② 自然エネルギー（太陽光や風力）を活用して発電する電気のことを、再生可能○○○○○と言います。
- ③ 海に流されて問題となっているのは、直径5mm以下のマイクロ○○○○○○○です。
- ④ 二酸化炭素・メタン・一酸化二窒素などの地球温暖化の原因と考えられているのは、温室○○○○○と言います。

### ヨコのマス

- ① CO<sub>2</sub>（二酸化炭素）の読み方は「○○○○ツー」です。
- ② 生活の中に「エコ」を取り入れた「より快適な暮らし」とは。
- ③ 「○○○ビズ」とは、「涼しく効率的に格好よく働くことができる」というイメージをわかりやすく表現した、ノーネクタイなどの夏のビジネススタイルの愛称です。
- ④ 二酸化炭素の排出量を減らす取り組みが「○○○○温暖化対策」です。

答えは6月20日号環境館およびSUZUKA-COOL CHOICE News6月号(下記二次元コード)で発表します。



今回の特集に関するご意見・ご感想は環境政策課

☎ 382-7954 / 📠 382-2214 / 📧 kankyoseisaku@city.suzuka.lg.jp